

中国、李登輝氏への訪日許可に猛反発



中国外務省の姜瑜副報道局長は5月29日の定例記者会見で、台湾の李登輝前総統(84)が5月30日から私的に訪日することについて、「中国政府は日本政府に対し、台湾問題において日本政府が実際の行動によって承諾を恪守し、台湾独立分裂勢力に政治舞台を提供しないよう厳正に交渉している」と強く反発した。

姜副報道局長はまた、多年の言行から、「李登輝氏は急進的な台湾独立分裂勢力の中心人物であることが十分証明されている」と李登輝氏の訪日活動を許可した日本政府をけん制した。

関係筋によると、李登輝氏は今月30日から6月9日まで日台学術交流団体「アジア・オープン・フォーラム」の招きで来日。観光旅行が主な目的だが、東京などで講演も行う。

日本政府は2005年から台湾人の観光短期滞在査証(ビザ)を免除しており、今回李登輝氏にも一般の台湾人観光客と同様、ビザを免除して入国を認める方針を示した。(日中経済通信)

(05/29 21:56)

<http://jp.ibtimes.com/article/general/070529/8020.html>